

平成 28 年度 学校評価報告書（目標設定・実施結果）

視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (3月9日実施)	総合評価(3月24日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	<p>① 共通教科・科目を中心に、グローバル社会を生き抜くために必要な資質・能力を育成し、新学習指導要領に対応できる教育課程を編成する。</p> <p>② 思考力・判断力・表現力の育成など「学力の3要素」を取り入れた授業改善に組織的に取り組む。</p>	<p>① グローバル教育研究推進校としての取組を進め、高大接続システム改革に適応した教育課程を編成する。</p> <p>② 思考力・判断力・表現力の育成に繋がるアクティブ・ラーニング型の授業に取り組む。</p>	<p>① 教科会を中心として現在の教育課程を積極的に検証し、教科横断的な視点で教育課程を編成する。</p> <p>② すべての教員が、単元において1回はアクティブ・ラーニング型の授業に取り組む。</p>	<p>① 職員アンケートで「職員全体で取り組むことができた」が9割以上となったか。</p> <p>② 「生徒の授業評価」で「先生の話聞くだけでなく、発言する・問題を解く・発表するなどの活動がある。」の平均値が前回(3.0)より増加したか。</p>	<p>① グローバル教育研究推進チームを組織して、新たな教育課程の策定と検討を始めた。</p> <p>② 「生徒の授業評価」における「先生の話聞くだけでなく、発言する・問題を解く・発表するなどの活動がある。」の平均値は2.93だった。</p>	<p>① 新たな教育課程に関しては、35周問題、単位減の必要性を考慮して、策定に向けての検討を重ねていく。</p> <p>② 授業進度との兼ね合い等から、2学期は特に「発表する」などの機会が減った点は課題であり、検討したい。</p>	<p>・グローバル教育の推進に関しては、これまでの取組を活かしつつ、検討チームを中心に充実・発展させてもらいたい。</p> <p>・「生徒の授業評価」を受けて、具体的などのような改善が施されているのか示してほしい。</p> <p>・資料は具体的な数値で示してもらいたい。</p>	<p>・グローバル教育研究推進に係る3年間及び平成28年度の実施計画を策定し、具体的に取組を進められた。</p> <p>・新教育課程の大枠については共通理解を図ったが、細部は検討中である。</p> <p>・平成27年度に引き続き、アクティブラーニング研修及び研究授業・研究協議会を実施し、授業改善を進められ、思考力・判断力・表現力について、3年生アンケートでは、「中学校より高められた」という生徒の割合は94%だったので、一定の成果を上げている。</p> <p>・「生徒の授業評価」においては、目標の達成にはわずかに及ばなかった。</p>	<p>・新教育課程について、更に細部の検討を行い、平成29年度当初を目途に策定する。</p> <p>・思考力・判断力・表現力の育成に繋がる授業改善の取組については、一定の成果を収めているものの、「生徒による授業評価」の目標を達成するように、各教科が生徒の自己表現活動を更に取り入れるなど、工夫を凝らして授業改善を更に進める。</p> <p>・改善に向けた取組について、見える化を更に進める。</p>
2 (幼児・児童・) 生徒指導・支援	<p>① 基本的な生活習慣を確立し、生徒の規範意識の向上を図る。</p> <p>② 部活動と学習の両立を目指し、部活動の入部率をさらに高める。</p>	<p>① 日頃より交通安全教育に努め、自転車による交通事故の撲滅を目指す。</p> <p>② 部活動の入部率をさらに高める。</p>	<p>① 自転車通学者に対する乗車マナー指導を充実する。</p> <p>② ニュースターターデーや、定期的な部長会を通じて、部活動の充実を図る。</p>	<p>① 自転車による交通事故件数が0となったか。</p> <p>② 部活動入部率がさらに高まったか。</p>	<p>① 自転車による交通事故件数は0ではなかった。</p> <p>② 昨年同様に、部活動の入部率は8割をこえ、充実した活動が行われた。</p>	<p>① 地道な交通安全指導を継続する。</p> <p>② 定期的な部長会を通じ、部活動をはじめとする学校生活のチェックを行い、定着率を高める。</p>	<p>・交通事故防止の指導については引き続き、取り組んでももらいたい。</p>	<p>・毎月の交通安全指導等を丁寧に行ったが、自転車交通事故及び乗車マナーに係る苦情0には至らなかった。</p> <p>・様々な取組により、部活動入部率は89%となり、目標を達成できた。</p>	<p>・交通事故防止及び乗車マナーに係る指導については、全職員の共通理解と協同歩調のもと、引き続き忍耐強く指導していく。</p> <p>・高い入部率を高い定着率に繋げる取組を行う。</p>
3 進路指導・支援	<p>① 3年間を見通したきめ細やかなキャリアガイダンスにより、生徒一人ひとりの多様な職業観を育成する。</p> <p>② 希望する上級学校への進路を、生徒全員が実現する。</p>	<p>① 生徒一人ひとりの進路実現に向け、3年間を通じたキャリア教育計画の見直しを進め、インターンシップやドリムプロジェクトを推進する。</p>	<p>① キャリア教育に係る今までの取組を整理し、3年間のキャリア育成計画を策定する。また、インターンシップやドリムプロジェクトによる職業観育成を充実させる。</p>	<p>① 3年間のキャリア育成計画を策定できたか。また、生徒アンケートにおいて、「自らの進路について考える機会が増えた」という生徒が7割以上いたか。</p>	<p>① 各学年の「総合的な学習の時間」において各時期に適した内容のプログラムを実施することによりきめ細やかなキャリアガイダンスを図った。</p>	<p>① 引き続き、「総合的な学習の時間」の展開を工夫していく。早い段階から保護者を含めた意識啓発心がけ、一層の希望実現をめざす。</p>	<p>・今後も職業観を育成する取組を充実させてもらいたい。</p> <p>・インターンシップに係る取組は地域と連携して、さらに充実してほしい。</p>	<p>・生徒の希望進路の実現に向けて、3年間のキャリア育成計画を策定し、ドリムプロジェクトなど具体的な取組を進められた。</p> <p>・職業観育成に繋がるインターンシップ参加者が13名であるので、参加を啓発する。</p> <p>・3年生アンケートでは「キャリア教育を受けたことにより成長できた」の割合は75%であり、取組の成果が見られた。</p>	<p>・地域と連携したインターンシップなどを更に進めるなど、生徒の職業観を育成する取組を充実させていく。</p>

4	地域等との協働	<p>① 近隣の学校や自治会と防災や行事における連携を深め、地域に開かれ、地域とともにある学校づくりを進める。</p> <p>② P T Aや同窓会との連携を密にし、外部人材や教育力の活用を進める。</p>	<p>① 生徒の自己有用感の向上に繋がるP T Aや同窓会、地域との交流・連携を深める。</p>	<p>① 創立 30 周年記念事業や文化祭、部活動交流、出前授業を通じて、交流・連携を深める。</p>	<p>① 創立 30 周年記念事業を成功裏に実施できたか。また、文化祭の入場者数や部活動交流、出前授業の回数が前年度より増加したか。</p>	<p>① P T A・同窓会と連携して創立 30 周年記念式典を挙行することができた。地域防災に関する自治会・小学校・中学校・大和市の運営委員会に副校長が 10 回参加した。また文化祭入場者数は約 3,500 名、部活動等の交流活動回数は 16 回、出前授業 4 回、学校説明会の参加者延べ人数は 1,521 名だった。</p>	<p>① グローバル教育推進校として、連携のあり方について話し合いを続けていく。</p>	<p>・地域防災は、高校生の力が必要となるので、今後も自治会、小学校、中学校と連携をとりながら、防災・減災の意識を高めてもらいたい。</p>	<p>・ P T A、同窓会、地域等と連携して、創立 30 周年記念事業を成功裏に終えることができた。</p> <p>・地域防災に関する取組に継続的に参加し、自治会、小学校、中学校と連携を深めることができた。</p> <p>・文化祭、部活動等の交流、出前授業、学校説明会などの行事を通して、交流を深めることができた。</p>	<p>・防災に係る取組に生徒・職員が参加することで、今後も自治会、小学校、中学校と連携を図り、生徒及び職員の防災・減災の意識及び自助・共助の姿勢を高めていく。</p>
5	学校管理 学校運営	<p>① 本校での課題について職員全体で積極的に取り組み、協働して課題解決に取り組む。</p> <p>② 事故防止に対する意識を高く持ち、職員が連携して事故を防ぐ体制を整える事故・不祥事 0 を達成する。</p>	<p>① 高大接続システムや授業改善に関する研修会や研究協議会を実施する。</p>	<p>① 講師を招聘し、高大接続システムや授業改善に関する研修や研究協議会を実施する。</p>	<p>① 職員アンケートにおいて、「研修会の内容について理解を深めることができた」という職員が 9 割以上いたか。</p>	<p>① アクティブ・ラーニングに係る研修、外部専門機関との連携による授業改善を実施し、職員の意識が高まった。</p>	<p>① 今後も継続的に研修会を実施する。高大連携だけでなく、中学校との連携も強化する。</p>	<p>・今後も生徒に対して質の高い教育を与えられるように職員研修実施に努めてもらいたい。</p>	<p>・大学教授及び県指導主事を招いたアクティブ・ラーニングに係る研修及び研究授業・協議会実施、中学校との相互授業見学等により、職員の授業改善に係る意識が高められた。</p> <p>・外部専門機関と連携した英語指導力向上の取組、英語教員海外研修等により、職員の授業改善に係る意識が高められた。</p>	<p>・教育の質の向上及び職員の意識啓発に向けて、授業改善など実践的なテーマについて職員研修を実施する。</p> <p>・今年度に引き続き、中学校などとの互見授業等も実施して授業改善に活用していく。</p>